

関西トピックス 2008 道路

道路

■概略

日常的に混雑が激しく、渋滞が多い関西の高速道路ですが、スムーズな道路交通をめざして、各地で新路線の建設工事が進められています。計画の柱となっているのが、名古屋～大阪～神戸を結ぶ予定の「新名神高速」。2008年にはいよいよ一部の区間が

開通し、従来の名神高速道路や名阪国道のバイパスとして機能することになります。また、阪神高速は新しく京都での路線整備を着々と進めています。そして、京都府北部、和歌山県南部への自動車専用道も一部区間が2007年後半～2008年にかけて延伸されます。

阪神高速8号京都線開通

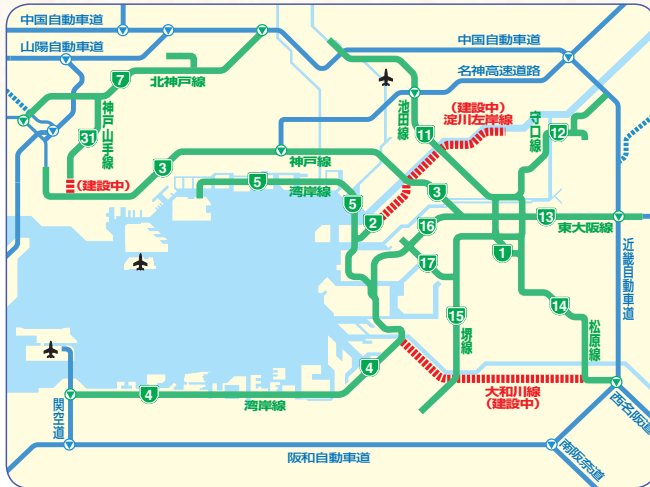


●2008年の開通区間

- ・上鳥羽ランプ～第二京阪道路接続部(5.5km) ⇒2008年1月完成
- ・山科ランプ～鴨川東ランプ(2.7km) ⇒2008年6月完成

●今後の予定

残る鴨川東ランプ～上鳥羽ランプは2010年度に完成の予定。全通すると、京都市南部の交通がスムーズになり、京都駅・山科区方面～宇治・木津川・奈良方面の**所要時間が短縮**されます。



●その他の阪神高速の計画路線

阪神高速道路では、2010年度までに京都線のほか、**31号神戸山手線**の神戸市長田区南駒栄町～同区蓮池町の延伸による3号神戸線との接続を予定しています。このほか、大阪府内で「大和川線」「淀川左岸線」の建設計画が進んでいます。

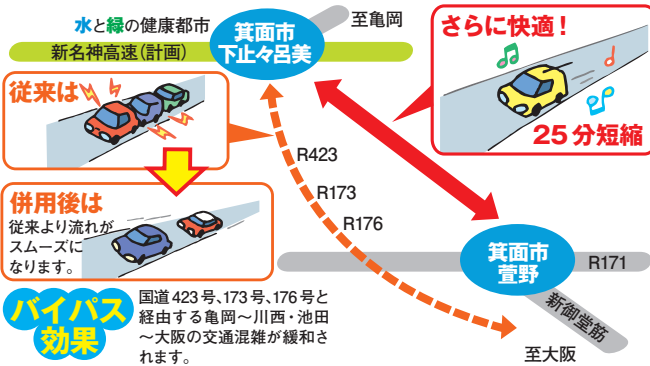
箕面グリーンロード開通

費用節約効果

ガソリンなど燃料経費の削減はもちろん、移動にかかる時間の短縮を費用換算すると、相当な節約につながります。

時間短縮効果

箕面市下止々呂美～箕面市萱野(新御堂筋と国道171号の交差点)までの所要時間が普通乗用車で約25分短縮が図れます。



箕面市萱野(新御堂筋と国道171号の交差点)～同市下止々呂美を結ぶ有料道路、**箕面グリーンロード**が2007年5月30日に開通しました。この道路は建設がすすむ「水と緑の健康都市箕面森町」へのアクセスとなるほか、計画中の新名神高速と大阪中心部を結ぶネットワークの一部ともなります。

新名神高速が開通

●2008年の開通区間

「第二名神高速」の仮称で呼ばれ建設が進められていた高速道路は正式に「**新名神高速道路**」と名付けられました。そして、2008年2月23日に亀山ジャンクション(東名阪道と接続)～草津ジャンクション(名神高速と接続)の間49.7kmが開通しました。



●大阪・京都～名古屋が近くなる

新名神高速は東名阪道経由で伊勢湾岸道とも接続します。従来の名神高速や、西名阪道～名阪国道～東名阪道経由と比べて**大阪、京都と名古屋との距離が短くなり**、所要時間も短縮されます。

●将来的な構想

新名神高速は現在、大津ジャンクションから城陽、八幡、高槻と経由して神戸ジャンクションまでの建設計画が進められています。将来的には、京都・大阪・神戸と名古屋を結ぶ**第二の高速道路**として機能する構想です。

阪和道延伸

●田辺に到達、南紀方面へのアクセスがより便利に

大阪、和歌山から南紀方面へのアクセスとなる阪和道は、2007年11月11日にみなべインターチェンジ～南紀田辺インターチェンジ(5.8km)が延伸開通しました。南紀田辺インターチェンジは、田辺西バイパス～田辺バイパスとも直結。夏には大混雑となる国道42号の混雑緩和が期待されるとともに、大阪から**白浜への所要時間が約15分**、短縮されます。



京都縦貫道延伸

●2008年に開通する区間

京都縦貫道の一部となる「丹波綾部道路」の和知インターチェンジ(仮称)～綾部安国寺インターチェンジの建設工事が最終段階を迎えており、**2008年夏～秋には開通**する予定です。

●今後の延伸計画

沓掛インターチェンジ～宮津天橋立インターチェンジで整備計画が進む京都縦貫道は、残る未開通区間が「丹波綾部道路」として現在建設中です。**全線開通予定は2016年の予定**で、完成すると京都市内(沓掛インターチェンジ)と、綾部、舞鶴、福知山、宮津といった京都府北部の都市が自動車専用道路で結ばれます。



●この冊子に掲載の内容は2008年2月までに収集した情報に基づいて編集しました。
●この冊子の内容に関しましては、今後も変更や中止などもあり得ますので、あらかじめご承知ください。
●この冊子の内容に関しましては、本体地図での掲載内容と表現が必ずしも一致するものではありません。
●許可なく転載・複製することを禁じます。

関西トピックス 2008 鉄道

■概略

京阪神エリアではJRおおさか東線が部分開業を迎え、京都市営地下鉄東西線も延伸。2009年度以降も阪神なんば線、京阪中之島線など通勤通学路線が次々に開業する予定であるなど、活発な鉄道建設が行われています。それぞれ

新しい交通ルートの開拓、ラッシュアワーの混雑緩和など幅広い効果が期待されている路線です。しかし、その一方で、経営状態が良くない近鉄伊賀線、養老線が近鉄の子会社へ移管されるなど、ローカル線は厳しい環境の下にあり、存続への道が模索されています。

JRおおさか東線開業

●2008年の開業区間

おおさか東線は、貨物列車専用の路線であった「城東貨物線」を複線電化し、旅客線に改築した新しい路線です。今回はその一部、**放出～久宝寺間**9.2kmが**2008年3月15日に開業**しました。この線は、大阪府東部を南北に結ぶ路

線として計画され、放出ではJR学研都市線、高井田中央では地下鉄中央線、JR河内永和では近鉄奈良線、JR俊徳道では近鉄大阪線、久宝寺ではJR大和路線と、それぞれ接続します。

●将来的な構想

残る建設区間は新大阪～放出で、全線開業すると約20.3kmの路線となる予定です。新大阪では東海道・山陽新幹線と接続。さらには阪急京都線、京阪本線なども接続駅が設けられる予定です。完成後は、これまでおもに東西方向が中心となっていた鉄道を**南北に広く結ぶ**ことになり、混雑する大阪市中心部の各路線の「バイパス」として機能させることが計画されています。

JR河内永和駅(2007年9月撮影)



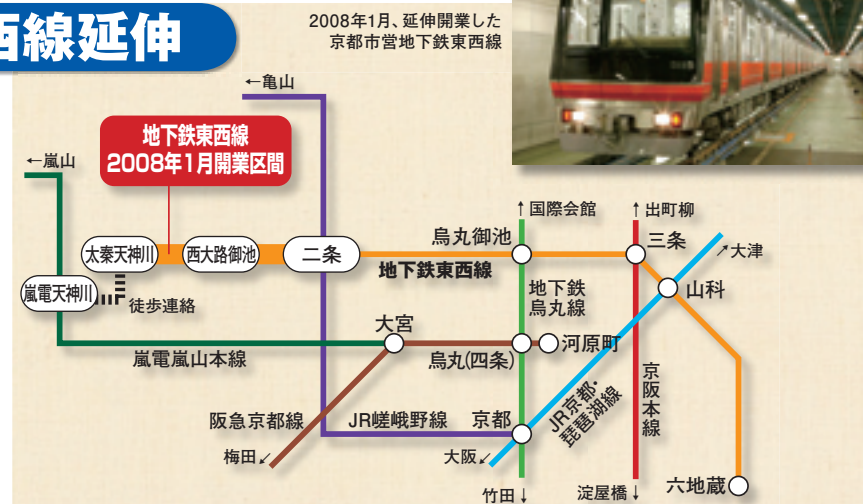
放出駅東方、JR学研都市線との分岐点付近



京都市営地下鉄東西線延伸

●2008年の開業区間

現在、二条～六地蔵を結んでいる京都市営地下鉄東西線が、2008年1月16日には二条からさらに西へ、**太秦天神川まで延伸**されました。これにより、新たに京都市西部から中心地への時間距離が大幅に短縮されるほか、太秦天神川駅と接続する嵐電嵐山本線の嵐電天神川駅によって、**嵐山、嵯峨野方面への観光アクセスが充実**します。



2008年1月、延伸開業した京都市営地下鉄東西線



JRの新駅が開業ラッシュ

●2008年の開業駅

2007年3月に開業した、さくら夙川駅(西宮～芦屋間)に続き、JR京都線、JR神戸線(山陽本線)では新しい駅が次々に誕生します。2008年の開業駅は、**島本**(3月開業、JR京都線・山崎～高槻間)
須磨海浜公園(3月開業、JR神戸線・鷹取～須磨間)
はりま勝原(3月開業、山陽本線・英賀保～網干間)
JR桂(仮称、秋開業予定、JR京都線・西大路～向日町間)です。



●新駅建設の狙い

これらの駅の多くは、利便性の向上を願う**地元自治体や住民の要望**によって建設されています。このため、駅前広場などは公的な負担で整備されます。最近になって建設が盛んなのは、少子高齢化時代を迎えて利用客が減少傾向にあるJR西日本が「アーバンネットワーク」のテコ入れを図っている、との理由もありま

す。従来のJRの路線は駅と駅間の距離が長かったため、**こまめに停車**して利用客を取り込もうとの狙いで、それと地元の意向が一致して駅の新設となっているのです。

伊賀鉄道、養老鉄道って?

2007年10月1日より、近鉄伊賀線(伊賀神戸～伊賀上野)が**伊賀鉄道**へ、近鉄養老線(桑名～大垣～揖斐)が**養老鉄道**へと経営がそれぞれ引き継がれました。とはいえ、両社は近鉄の子会社。線路、車両などは近鉄が所有し、新会社へリー



旧近鉄伊賀線の電車



2007年10月1日から養老鉄道となった近鉄養老線

スすることになります。近鉄本体は黒字経営で法令上、自治体からの補助金を受け取れないため、**経営が厳しいローカル線を分離**。公的な資金を投入して、路線の維持と改良に充てようという計画です。

三木鉄道廃止

「特定地方交通線」に指定されて廃止対象となった国鉄三木線を引き継ぎ、厄神～三木間を運営してきた**三木鉄道が2008年3月末限りで廃止**されました。通学の高校生の減少などにより年々赤字が累積し、三木市も財政事情が厳しいため、これ以上の公的な負担には耐えられないとの判断です。廃止後は同じ区間に代替バスが運転されています。



ありし日の三木鉄道

今後も話題が目白押し!

- ★**阪神なんば線**
西大阪線を延伸する形で西九条～なんば間を建設中。2009年春に開業予定で、近鉄奈良線と相互乗り入れを行う。
- ★**京阪中之島線**
天満橋～中之島間で建設中。2008年10月に開業の予定。

関西トピックス 2008

施設

京都駅前でもデジタル戦争!

かつて大阪のキタ・ミナミで展開された大型家電量販店の進出合戦が、今度はJR京都駅前でも展開されています。駅北側に2007年8月23日にオープンした「ビックカメラ」が一歩リード。さらに2007年2月に閉店した近鉄百貨店跡地には「ヨドバシカメラ」が進出の予定です。駅南側には「上新電機」の大型店舗が出店予定となっています。

京都駅前に開店したビックカメラ



JR京都駅周辺に進出を予定する家電量販店



兵庫県でも建設ラッシュ!

神戸三田プレミアム・アウトレット

2007年7月6日にオープンした「神戸三田プレミアム・アウトレット」は、全国展開が行われているアウトレット・モールの一つ。中国道神戸三田インターチェンジ、六甲北道路長尾ランプからも近く、早くも神戸・三田の新名所として賑わっています。



オープンしたばかりの神戸三田プレミアム・アウトレット



阪急西宮ガーデンズ

阪急西宮ガーデンズ

阪急西宮北口駅の駅前、かつては阪急ブレーブスの本拠地として親しまれた阪急西宮スタジアムの跡地には、2008年秋、日本最大級のショッピングセンター「阪急西宮ガーデンズ」がオープンの予定。阪急百貨店、イズミヤ、シネマコンプレックスと約250店舗が集まります。

キリンガーデンシティ(仮称)



キリンガーデンシティ

乗換駅としても利用者の多いJR尼崎駅の北側、キリンビール尼崎工場の跡地に、百貨店、スポーツクラブ、シネマコンプレックスなどからなる複合商業施設「キリンガーデンシティ(仮称)」が2009年秋のオープンを目指して建設中です。同駅がさらにターミナルとして発展することが期待されます。

イオンモール誕生! 対するセブン&アイ

「イオンモール」に改称するダイヤモンドシティ・アルル



「ダイヤモンドシティ」として親しまれてきたショッピングセンターが、同社とイオンモールとの合併により、2007年9月22日より、新たに全国統一の新しい名称「イオンモール」となりました。ライバルのセブン&アイホールディングスも、「アリオ八尾」に続く関西2カ所めの大規模SCとして、2008年3月31日、堺市南部に「アリオ鳳」をオープンさせました。

アリオ鳳



キタvsミナミで百貨店がリニューアル

現在、2011年のグランドオープンを目指して大規模な建て替え工事が進められている「阪急百貨店うめだ本店」や、梅田貨物駅の敷地ではJR大阪駅の改築計画とも連携して、2011年の街開き予定で再開発計画が進行中。一方、ミナミでは、近鉄大阪阿部野橋駅ターミナルビルを、高さ約300mという「日本一の超高層複合ビル」に建て替え。百貨店、オフィス、ホテルなどが入居し、2014年オープンを目指とする計画が発表され、注目を集めています。

阪急百貨店



近鉄阿部野橋駅ターミナルビル



りんくうプレジャータウンSEACLE

関西国際空港の対岸には、「りんくうプレジャータウンSEACLE」が2007年12月にオープンしました。JRと南海のりんくうタウン駅に直結し、「りんくうプレミアム・アウトレット」にも隣接する便利な立地で、ショッピングやエンターテイメントなどが楽しめる、複合施設として注目されています。

りんくうプレジャータウンSEACLE

